

WE'RE FOR CREATORS™



zoom®

株式会社ズーム

2017年12月期  
第1四半期

決算説明資料

2017年5月8日

## I. 2017年12月期 第1四半期

1. 業績ハイライト
2. 連結損益計算書
3. 製品カテゴリー別売上高
4. 地域別売上高
5. 営業利益の増減分析
6. 連結貸借対照表
7. 売上及び利益の推移
8. 経常利益変動要因

## II. 2017年12月期 予想

1. 連結業績予想
2. 連結カテゴリー別売上予想
3. 株主還元方針

(ご注意) 本資料の将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が内在しております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

We're For Creators

I. 2017年12月期 第1四半期

対前年同期比で増収増益／当初計画も上回る

## 2017年第1四半期連結業績

売上高	： 1,535百万円	（前年同期比＋ 8.8%）
営業利益	： 82百万円	（前年同期比＋92.3%）
経常利益	： 46百万円	（前年同期比119百万円の改善）

### ■ 売上増加要因

- 主として、プロフェッショナルフィールドレコーダー及びハンディビデオレコーダーが新製品効果により対前期同期比で増加したことによる

### ■ 経常利益増加要因

- 円高時に仕入れた在庫の販売により売上総利益率が増加
- 前年同期に比べて為替差損が大幅に減少（2016年1Q:▲123百万円→2017年1Q:▲24百万円）

※2016年12月期1Qの数値は未監査であり、当該部分は参考数値となります。

# 2017年12月期 第1四半期 連結損益計算書（要約）



(百万円)

	2016.12期 第1Q実績	2017.12期 第1Q実績	増減額	摘要
売上高	1,411	1,535	+124	・主として前年同期未発売の新機種の効果による
営業利益 (売上高営業利益率)	42 (3.0%)	82 (5.3%)	+39	・売上総利益率は0.5%改善。 - 円高時に仕入れた在庫の販売が多かった - 一方、生産終了品残材処理により29百万円 売上原価が増加 ・販管費対前年同期比9百万円増加
経常利益 (売上高経常利益率)	▲72 (-)	46 (3.0%)	+119	・為替差損が123百万円から24百万円と減少
親会社株主に帰属する四半期純利益 (売上高四半期純利益率)	▲58 (-)	28 (1.8%)	+86	
EBITDA	102	125	+22	EBITDA= 営業利益+減価償却費+持分法投資損益
減価償却費 研究開発費 為替差損益	52 185 ▲123	32 170 ▲24	▲19 ▲15 +99	売上原価と販管費に含まれる減価償却費の合計
平均為替レート (円/米ドル)	118.3円	114.7円		

※2016年12月期1Qの数値は未監査であり、当該部分は参考数値となります。

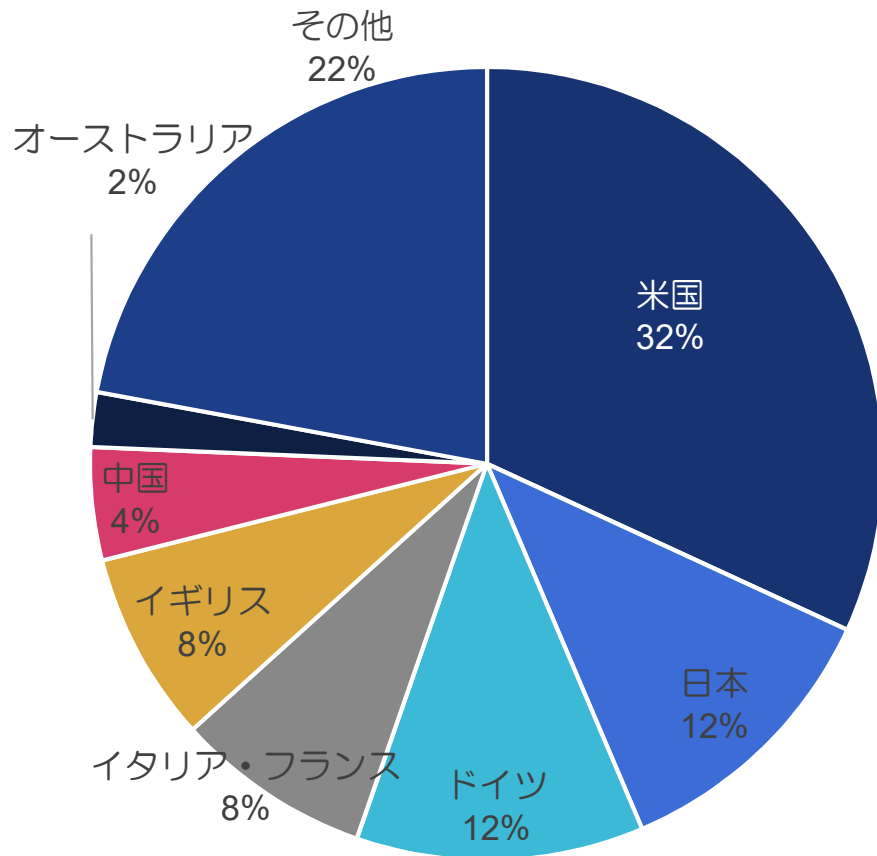
(百万円)

	2016.12期 第1Q実績	2017.12期 第1Q実績	増減額	売上高の増減要因
ハンディオーディオレコーダー	716	741	25	● H4nProが旧機種のH4nに比べて37百万円売上増
マルチエフェクター	225	229	3	
ハンディビデオレコーダー	93	160	66	● 新機種Q2nの販売が前年同期はなかった
プロフェッショナルフィールドレコーダー	162	214	51	● 新機種F4の販売が前年同期はなかった
その他	213	189	▲23	● 売上から控除される未実現利益が27百万円増加 (関連会社が所有する当社販売在庫の増加)
合計	1,411	1,535	124	

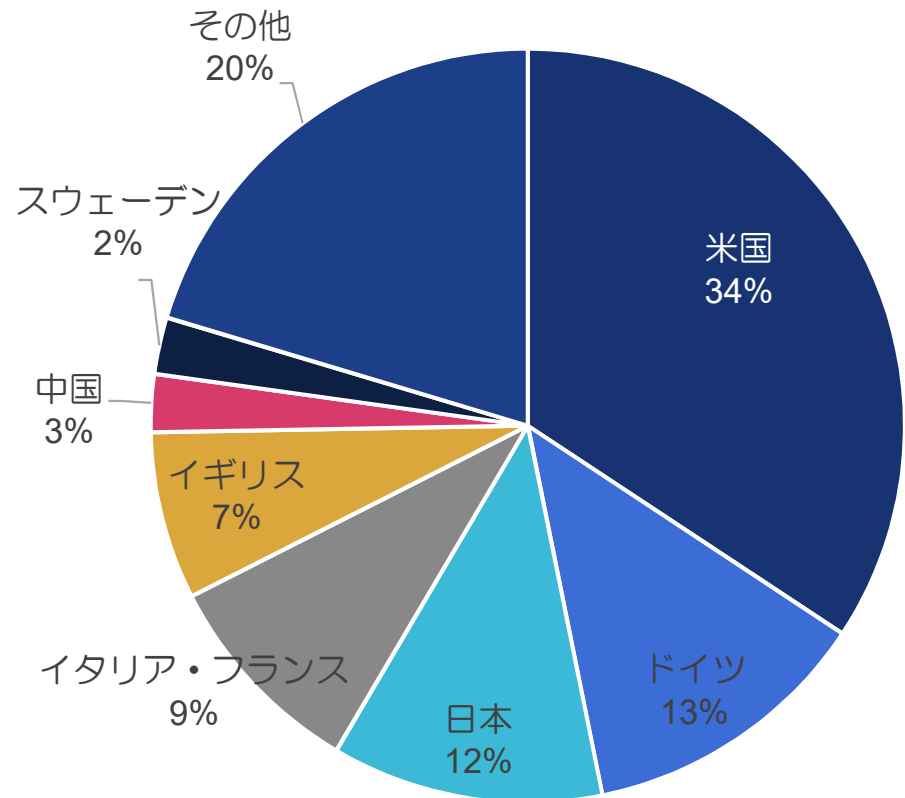
※2016年12月期1Qの数値は未監査であり、当該部分は参考数値となります。

地域別の売上割合は（米国向けが伸びたものの）大きな変化なし

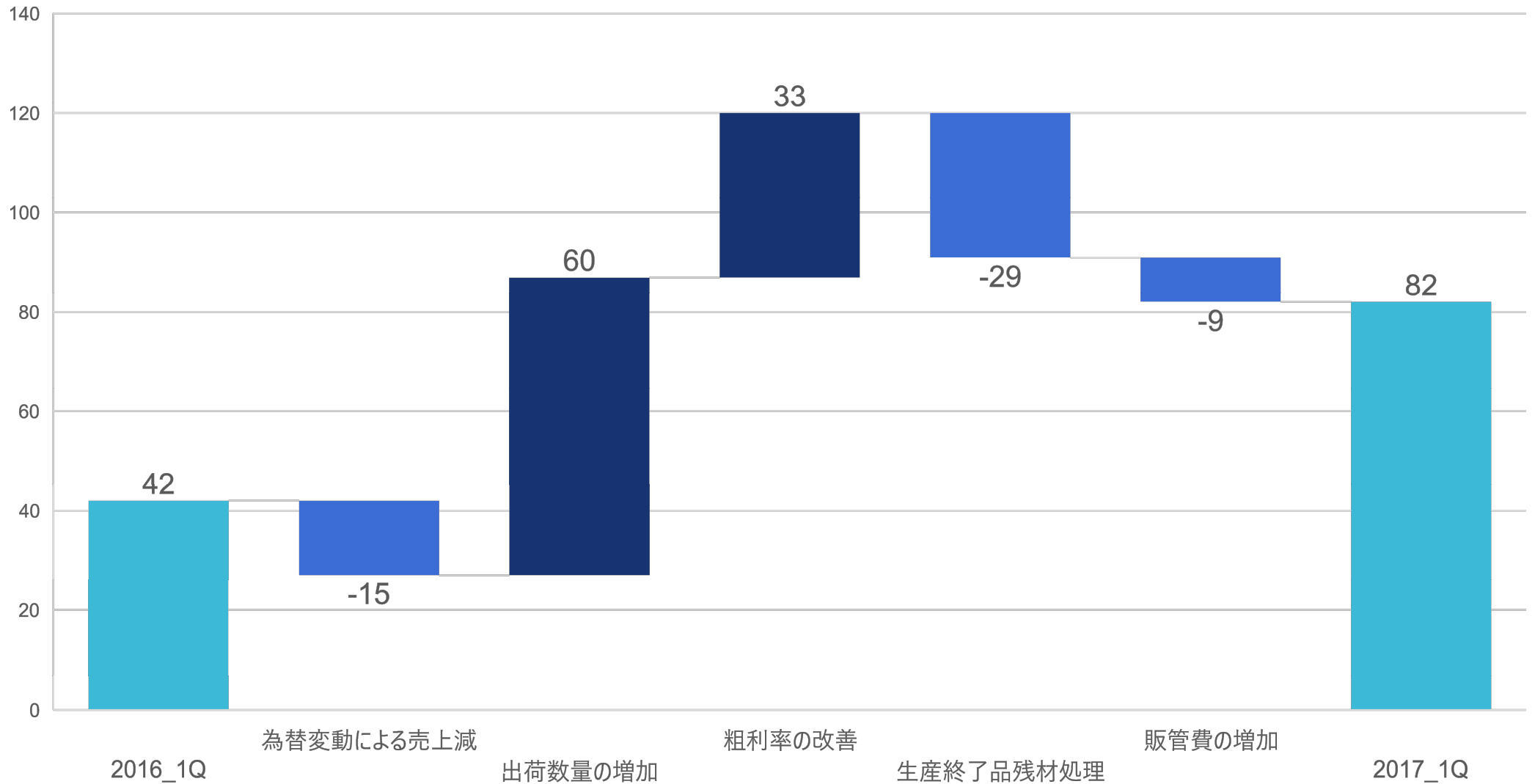
## 2016年度地域別売上



## 2017年第1四半期地域別売上



## 営業利益の増減分析 (百万円)



※2016年12月期1Qの数値は未監査であり、当該部分は参考数値となります。



# 2017年12月期 第1四半期 連結貸借対照表（要約）

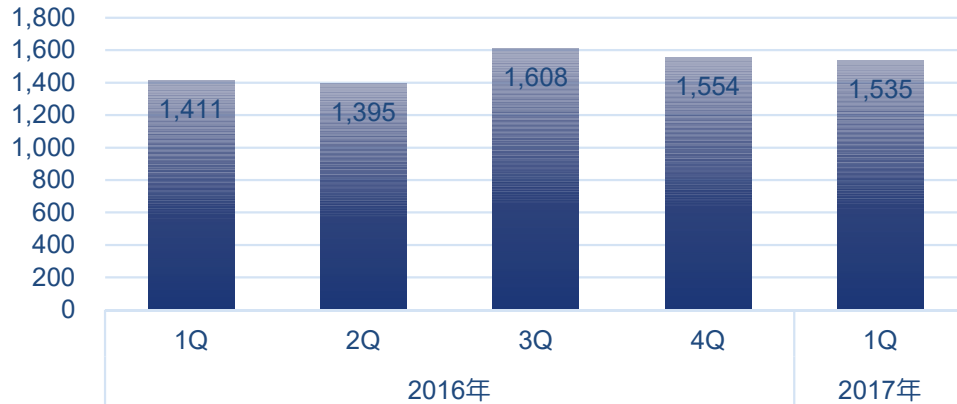


(百万円)

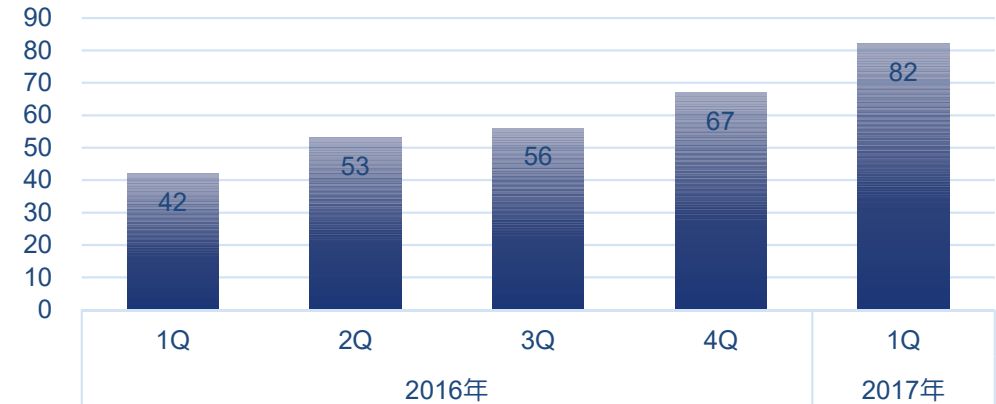
	16.12期末	17.12期 第1Q	増減額	増減理由
<b>流動資産</b>	5,510	5,610	+99	
現預金	3,319	3,605	+285	株式上場に伴う公募増資による増加+293
売掛金	866	786	▲79	16.12はドイツ代理店からの回収が翌月となった
商品及び製品	942	845	▲96	16.12は旧正月前の在庫確保により在庫増
<b>固定資産</b>	610	570	▲40	
有形固定資産	151	173	+21	
無形固定資産	3	3	▲0	
投資その他の資産	455	394	▲61	関連会社配当支払に伴う関係会社株式の減少
<b>資産合計</b>	6,121	6,180	+58	
<b>流動負債</b>	2,077	1,881	▲196	
買掛金	1,093	852	▲240	16.12は旧正月前の在庫確保により仕入増
短期借入金	698	673	▲25	
<b>固定負債</b>	—	—	—	
<b>負債合計</b>	2,077	1,881	▲196	
<b>資本金</b>	42	188	+146	株式上場に伴う公募増資による増加+146
<b>純資産合計</b>	4,044	4,299	+255	株式上場に伴う公募増資による増加+293
<b>負債純資産合計</b>	6,121	6,180	+58	

# 2017年12月期 第1四半期 売上及び利益の推移

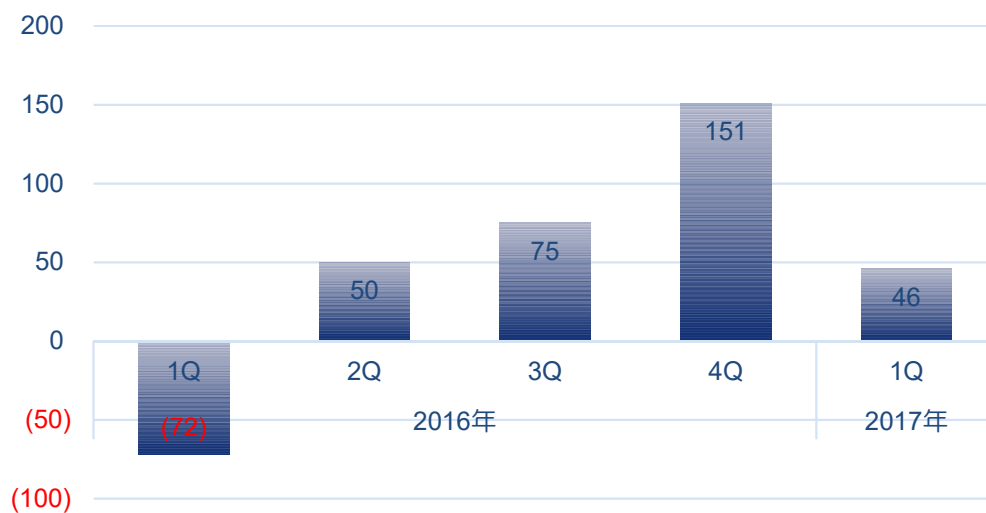
## 売上高 (百万円)



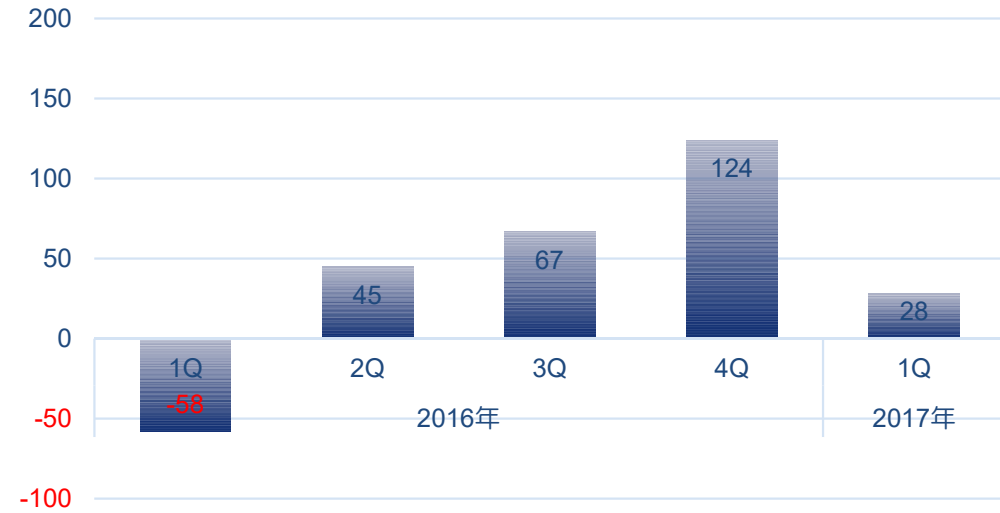
## 営業利益 (百万円)



## 経常利益 (百万円)



## 親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)



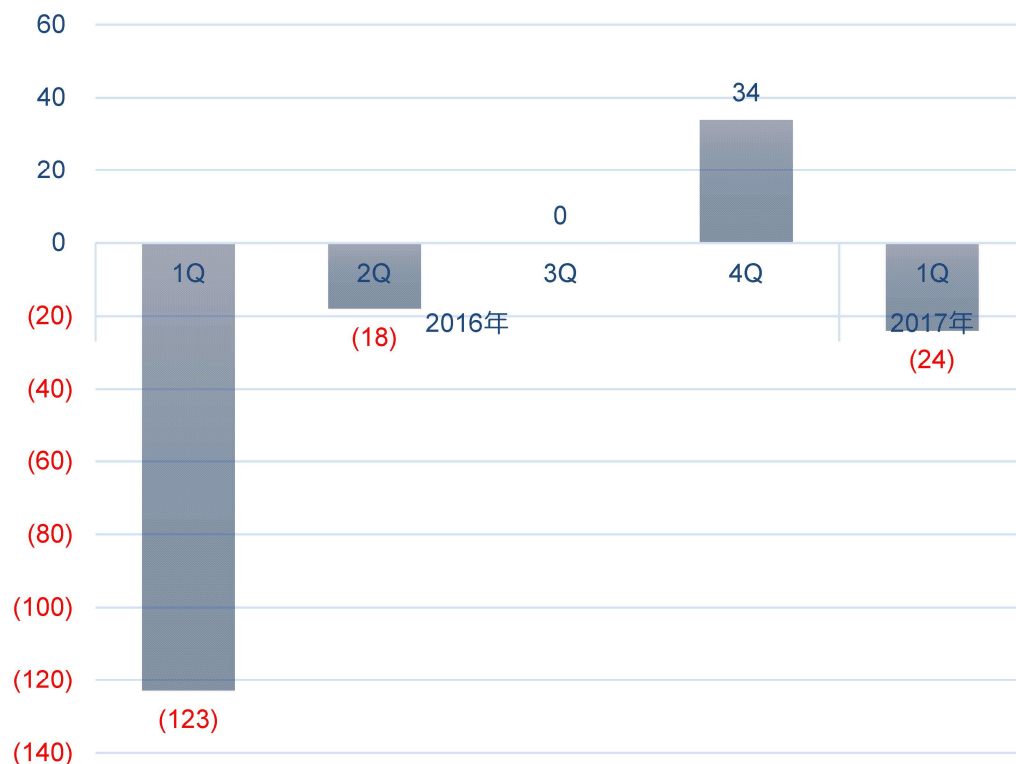
経常利益は、為替差損益及び持分法投資利益の影響を受けて大きく変動

※2016年12月期 1Q及び2Qの数値は未監査であり、当該部分は参考数値となります。

## 経常利益変動要因 ① 為替差損益

主として、為替変動により正味ドル建資産から生ずる為替換算差額。2016年4月よりドル建資産とドル建負債の残高をなるべくマッチングさせるヘッジ（いわゆる為替マリー）を実施。以降は為替変動による為替差損益の絶対額は減少している。

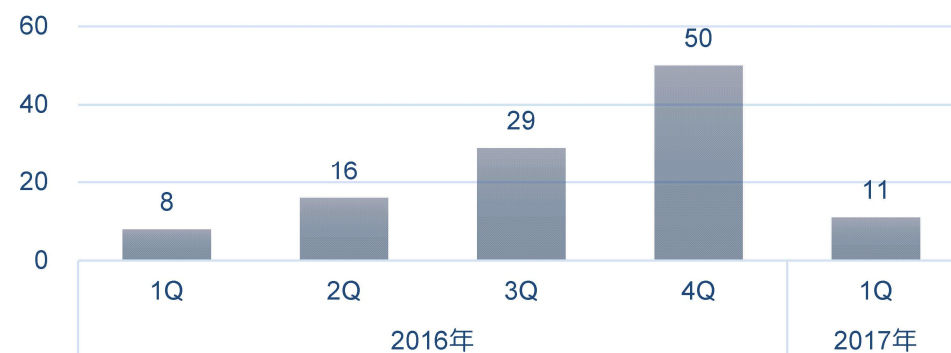
為替差損益 (百万円)



## 経常利益変動要因 ② 持分法投資利益

持分法適用会社である、ZOOM North America LLC(ZNA)とZOOM UK Distribution Ltd の持分法投資利益。クリスマス商戦の影響により、年の後半にかけて両社の利益は増加する傾向にある。

持分法投資損益 (注) (百万円)



(注) 持分投資損益 = 持分法投資利益 - 租税公課(ZNAの法人税相当)

※2016年12月期 1 Q及び2Qの数値は未監査であり、当該部分は参考数値となります。

We're For Creators

A black Zoom F600P portable audio recorder is shown on a wooden desk. The device has a carrying case and various ports and buttons. A pair of black headphones is resting on the desk behind it. The background is a plain, light-colored wall.

## Ⅱ. 2017年12月期 予想

# 2017年12月期 連結業績予想



第1四半期は売上、利益ともに予想より好調に推移したものの、第2四半期に入って円高傾向となっていること及び支払手数料等販管費が予想より増加傾向にあることから、通期の業績予想は前回公表の数値から据え置きといたします。

(百万円)

	16.12期 実績	17.12期				
		予想	増減額	増減率	17.12期 1Q実績	達成率
売上高	5,969	6,019	+50	+0.8%	1,535	26%
営業利益	220	229	+8	+3.7%	82	36%
経常利益	204	299	+94	+45.9%	46	16%
親会社株主に帰属する 当期純利益	179	238	+59	+33.3%	28	12%
EBITDA	512	563	+51	+10.0%	125	22%
一株当たり当期純利益	89.73円	110.65円	20.92円	+23.3%		
一株配当	20円	33円	+13円	+65.0%		
配当性向	22.2%	29.8%	—	—		
為替レート (円/米ドル)	109.3円	103円	—	—		

※為替感応度（為替相場の変動が年間利益に与える影響）：1円の円高（円安）で営業利益が約13百万円減少（増加）

	16.12期 実績	17.12期 (百万円)				
		予想	増減額	増減率	17.12期 1Q実績	達成率
ハンディオーディオレコーダー	3,132	2,948	-183	-5.9%	741	25%
マルチエフェクター	867	856	-10	-1.2%	229	27%
ハンディビデオレコーダー	333	386	+53	+16.0%	160	41%
プロフェッショナルフィールドレコーダー	706	847	+140	+19.9%	214	25%
その他	929	980	+50	+5.5%	189	19%
合計	5,969	6,019	+50	+0.8%	1,535	26%

## 17.12期 2Qの見込

- 売上については1Qと同様、前年同期及び予想を上回るペース
- 円高傾向により売上総利益率は1Qに比べて悪化する見込み

配当については対前期比で増配とする予定です

配当実績と計画	15.12期(実績)	16.12期(実績)	17.12期(予想)
親会社株主に帰属する 当期純利益	403百万円	179百万円	238百万円
配当金総額	39百万円	39百万円	72百万円
1株当たり年間配当	20円	20円	33円

株主還元は配当を中心に考えており、配当性向30%  
前後を目安に安定的な配当を実施する予定です。  
未定としておりました2017年12月期の配当予想額は、一株当たり33円といたします。

以上